

＜平成30年度 ハローオリンピズム事業＞

オリンピック教室

実施報告書

大分県 中津市立中津中学校





平成21年4月の学習指導要領の改訂以来、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されています。その中で、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容には、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」とオリンピックの意義が明示されています。そこで、JOCでは、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められており、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことのできない感動が生まれることを期待しております。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

また、「スポーツ基本法」の前文の一部には、「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習することで、この基本法に記された精神や態度が日常生活の中で具現化され、生涯にわたってスポーツに親しむことができるようになることを願っています。



- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成30年4月～平成31年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 60校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります



1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を受け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実施内容

■期 日：平成30年11月12日（月）

■ク ラ ス：2年1組（34名）

■オリンピアン：齋藤 里香 先生（ウエイトリフティング）【出場オリンピック／北京大会】



■授業のながれ：運動の時間（1時限）

1. 自己紹介～授業の目的確認



・自己紹介の後、2時間の授業を通してオリンピックの価値について学んでいくと、授業の目的を確認。
オリンピックバリューについて「エクセレンス＝卓越、ベストを尽くして一生懸命頑張る」「フレンドシップ＝友情、仲間を大切にしてチームワークを発揮する」「リスペクト＝尊敬、尊重、相手やルール・道具を大事にする」と説明。

2. 準備体操



3. 主運動



・2班ずつ3チームに分かれて8の字跳びを実施（90秒間×3回）
・ルール：①90秒間に跳べた回数を競う。②引っ掛かっても続きから数える。③縄の中には1人しか入れない。
・各回終了後結果や作戦を発表。

4. まとめ



・座学の時間は運動の時間を振り返りながら、オリンピックバリューについて学んでいくと予告。
・頑張って取り組んだお互いの健闘を称え、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・北京大会の映像を見せながらウエイトリフティングのルール等について解説。
- ・齋藤先生が競技を通じて感じたオリンピックバリューについて説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 個人発問：運動の時間を振り返ってオリンピックバリューについて考えてみよう。
 グループ発問：学校生活や日常生活の中でオリンピックバリューを、どのように活かしているか考えてみよう。
 発表：各班1名が発表（抜粋、順不同）
 エクセレンス：諦めない心を持つ、ベストを尽くす、目標を持ちやりとげる、一生懸命練習する、どのようにしたらうまくいくか考える等
 フレンドシップ：声を掛け合う、仲間が失敗しても責めない、励まし合う、友達を大切にする等
 リスペクト：相手に対してマイナス発言をしない、ルールを守る、相手の記録に対して拍手していた、物を大事にする等

4. まとめ



- ・オリンピック教室をきっかけに、オリンピックバリューを意識して学校生活を送ってほしい。
- ・ベストを尽くして授業に取り組む姿勢や、運動の時間で自然と起きた拍手、声を掛け合って大縄跳びに取り組めたこと等、今回の教室の中でも皆がバリューを体現している姿をたくさん見ることができた。
- ・これからもクラスの輪を大切にして学校生活を送ってほしいと伝え、授業終了。

実施内容

■期 日：平成30年11月12日（月）

■ク ラ ス：2年2組（34名）、2年3組（34名）

■オリンピアン：佐藤 久佳 先生（水泳・競泳）【出場オリンピック／北京大会】



■授業のながれ：運動の時間（3時限、5時限）

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介の後、北京オリンピックに出場し銅メダルを獲得するまで意識して取り組んできた経験を伝えながら、オリンピックの価値を学んでいく、と授業の目的を確認。
- ・準備体操ではダイナミックストレッチを実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・2班ずつ3チームに分かれて8の字跳びを実施（90秒間×3回）
- ・ルール：①90秒間に跳べた回数を競う。②引っ掛かっても続きから数える。
- ・各回終了後、結果や回数を発表。

4. まとめ



- ・今後自分が頑張ろうと思っていることに取り組む時には、より良くするためにはどうすれば良いか考えること、また、明確な目標を立てることにより、その時すべき内容がさらにはっきりすることが、理解できたのではないかと伝える。
- ・座学の時間は、オリンピックバリューを意識して取り組んだ運動の時間を振り返りながら進めていくと予告し、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



- ・座学の時間は、3つのオリンピックバリューについて説明しながら、先生の経験をバリューに基づいて授業を進めていく、と伝える。
- ・佐藤先生が競技を通じて感じたオリンピックバリュー(エクセレンス：「卓越」「一生懸命頑張る」「努力」、フレンドシップ：「友情」「協力する」「応援」、リスペクト：「敬意/尊重」「相手のことを思いやる」)を説明。

3. グループワーク



- 発問①：運動の時間を振り返って、どのようなことを改善しながら取り組んでいたか考えてみよう。
 発問②：今後の人生に3つのオリンピックバリューをどのように活かしていこうと思うか考えてみよう。
 発表：班毎の代表者1名が前に出て発問②について発表。（抜粋、順不同）
 エクセレンス：目標を達成するために集中して取り組む、計画を立て時間を有効に使う等
 フレンドシップ：みんなで協力し合う、頑張っている人を応援する、助け合う等
 リスペクト：素直さや思いやりを持ち相手を敬う、相手の気持ちを考えて行動する等

4. まとめ



- ・目標を決めることが難しいこともあるが、今頑張れなければ大人になっても頑張れない。何事も後回しにせずに今の時間を大切するよう伝える。
- ・未来を変えることはできるが、過去の自分の住み重ねが今の自分である。未来の自分をより良くするために、今の自分を大切にしてほしい、と伝え、授業終了。



■ 集合写真
2年1組



2年2組





■ 集合写真
2年3組



■ 記念品贈呈
2年1組



2年2組



2年3組



■ 修了証贈呈

